

もしものときのために

今備えよう

北海道胆振東部地震の発生から、約2カ月が経過しました。

本市では、9月6日の発生から停電による影響はありましたが、幸いにも2〜3日ほどで以前と変わらない暮らしとなりました。しかし、全道的な被害として、確認できるだけでも41人の死者、749人の負傷者、8965棟の住宅損壊、2000億円超の土木・農業関連被害や1300億円超の経済被害がありました。また震源地の厚真町では、最大1カ月間も水道が利用できない生活を余儀なくされていた地区もあり、地震による急激な生活変化やいつ起こるか分からない余震でのストレスなどで、今もお、苦しめられている方も多い状況です。

今まで過ごせている日常生活が、一瞬でなくなってしまう事態になるのが災害です。市民の皆さまも災害に対して対策・備えを万全にしてください。

避難の勧告と指示の違い

最終的に避難するかは個人の判断となり、場合によっては空振りとなることもあります。命を守るため避難することは重要なことです。

	名寄市	市民
低	避難準備・高年齢者等避難開始	高齢者や乳幼児など、避難に時間を要する方は避難、その他の方は避難の準備をします
危険性	避難勧告	この時点で全員が避難を開始しましょう
高	避難指示	「避難勧告」で避難しそびれた方に最後の情報となります

どこに避難するのか事前確認を市のハザードマップなどで確認しておきましょう。



災害用伝言ダイヤル『171』

災害発生時には、多くの方が一斉に電話をかけるため、電話がかかりにくくなります。災害用伝言ダイヤルは、このような電話がかかりにくい状態でも、家族間の安否確認や集合場所の連絡などに利用できます。固定電話ではなく、携帯電話会社が運営する災害用伝言板サービス (Web171) もあります。

停電時にはブレーカーを落とす

平成7年に発生した阪神・淡路大震災。この時の地震による火災原因は、電気ストーブの上で乾燥していた洗濯物が、地震の影響でストーブの上に落ち、その後停電復旧したときに引火したケースが多いとされて、ブレーカーを落としておけば6割もの火災が防げたとされています。

過去に起きている名寄の災害

地震発生頻度は低い一方で、台風などによりここ数年、毎年被害を受けています。対策と備えを万全にしておくことが大切です。

風水害

発生日月	対応	避難所	被害
2010. 7. 29	避難勧告、避難準備	2カ所	住宅浸水46棟
2014. 8. 5	避難勧告、避難準備	9カ所	住宅浸水79棟
2014. 8. 24	避難勧告、避難準備	2カ所	—
2016. 8. 17	避難準備 (台風7号)	2カ所	—
2016. 8. 20	避難指示、避難勧告	8カ所	住宅浸水4棟
2017. 9. 18	避難準備 (台風18号)	8カ所	—

※今年度については、風水害での被害は確認されておりません。

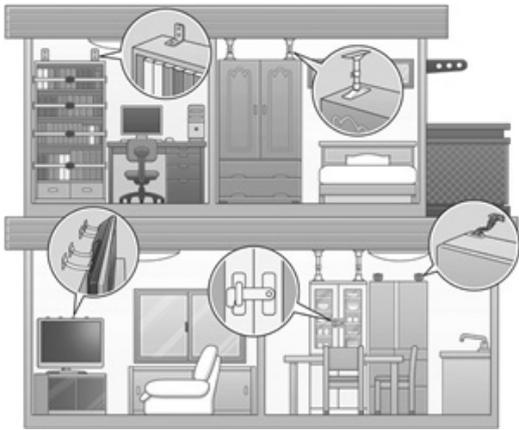
地震

年度	震度1	震度2	震度3
2012年	1回		
2013年			
2014年			
2015年			
2016年	1回	1回	
2017年	1回		

※北海道胆振東部地震での名寄の震度は「3」で、2004年12月14日 (留萌支庁南部地震) の地震以来です。

地震の対策

✓CHECK!



- タンスは床側をストッパーなどで固定し、天井側はポール式器具で固定する。
- 食器棚はL字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、開き戸には開かないように留め金を付ける。
- 本棚はL字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、重い本は下の段にテレビ・粘着マットを敷いて転倒を防ぐとともに、機器の裏側をワイヤーなどで壁やテレビボードに固定する。
- 冷蔵庫は裏側をワイヤーなどで壁に固定する。
- 窓ガラスは強化ガラスに替えたり、飛散防止フィルムを張ったりする、また、風水害対策として、サッシの下部に新聞紙や古いタオル・ぞうきんなどをはさんでおく。

備え

次のものを日常的に常備し、家族全員が置き場所を把握しておきましょう。家族で1週間程度、最低3日間を乗り切れる量を備蓄しましょう。持病の薬、アレルギーケア用品、乳幼児用品、眼鏡など他人には借りられないものは必ず持っていきましょう。

非常食

レトルト食品やアルファ化米、缶詰、インスタント食品、チョコレートなど



水

1人1日3リットルが目安



懐中電灯・携帯ラジオ・予備電池



携帯電話・充電器



カセットコンロ・ガスボンベ



ろうそく・ライター・マッチ



ストーブ (オール電化住宅対策)



現金・公衆電話用の硬貨



ホイッスル(防犯用)



手袋・軍手



ヘルメットや防災ずきん



日用品

ティッシュペーパー、トイレトペーパー、タオル、歯ブラシなど



ごみ袋・ビニール袋、ラップなど



健康保険証・運転免許証



あると便利なもの

- 携帯電話の車載充電器
- ノート・ペン (筆記用具)
- モバイルバッテリー
- ブルーシート
- スリッパや靴
- ポリタンクなどの給水用の入れ物
- カイロ・防寒着など

「満タン&灯油プラス1缶」運動

全国的に「満タン&灯油プラス1缶」運動が展開されています。これは大規模災害に備え、日頃から「車のタンクは満タン」に「灯油は多めの軒先在庫」を習慣づけるということです。この運動により地域住民の災害対応能力の向上や、災害時に給油所での渋滞発生抑制などが見込まれ、住民への配慮や被災地における迅速な復旧活動に少しでも貢献できると考えられています。ぜひこの運動にご協力をお願いいたします。

